

# 海をアピール!!

## トハウス・海水浴場



▲活性化のヒントに熱心に耳をかたむける参加者

モチない自分は面白くない

瀬戸町活性化の行方を探る瀬戸シンポジウム'86(主催瀬戸町・瀬戸町活性化推進協議会)が十一月一日、三机地区体育館で行われた。このシンポジウムには、町民や県内市町村行政関係者約三百五十人が参加。

# 瀬戸シンポジウム'86

「観光からの活性化をめざして」  
午前中は作家重門冬二氏の講演、午後からは斎藤次男氏のスライド報告、続いて大学教授など五人によるパネルディスカッションが行われた。これは過疎化・高齢化・一次産業の伸び悩みといった厳しい現実を困道一九七バ

スの開通、南子用水、八西ニューメディア構想、半島振興法などの好条件を引金としてなんとか打開しようとするので、参加者は活性化の方途を探る貴重なヒントに真剣に取り組んでいた。

▼パネリスト 客野澄博氏(愛媛新聞サービスマン)所長  
長谷川弘直氏(都市環境計画研究所代表)・宮崎謙氏(松山



コーディネーター 愛媛大学助教授 吉田 亮 三

オシャレをすること  
「観光からの活性化」平たく言えばおしゃれをすること

# パネルディスカッション

である。これは、人を魅了する外観を整えると同時に自身(地域住民)をうきまきさせるものでありたい。ただし、自分に合った装いでなければそれは生まれたいと前置きしている。今後、瀬戸町がどのように装ったらよいかパネリストに意見を求めた。

商科大学教授)・斎藤次男氏(社会計画研究所代表)▼コーディネーター 吉田亮三氏(愛媛大学助教授)の間で活発に展開された。  
①先生方の共通な意見として「まちづくりは人づくりである。いくら良い条件を有していても「やる気」がなければダメになる。  
②自然・歴史・文化などすべてが観光資源になりえるものである。  
③観光開発は半島地域の連携が必要であり、松山圏を見通した広域観光でありたい。などをあげている。  
パネルディスカッションの内容は次のとおり。



No.164

昭和61年11月20日発行  
発行所 瀬戸町役場  
☎0894(代)52-0111  
〒796-05 愛媛県瀬戸町三机  
編集企画課



(川之浜小学校5、6年生)

# 明日へ向ってジャンプ!!

## 「21世紀はボクらの時代」

### 主な内容

瀬戸シンポジウム'86から	2.3.4.5.6ページ	掲示板	9.10ページ
町制施行30周年記念式典	7ページ	社協だより	11ページ
三笠優子歌謡ショウ	8ページ	人々のうごき	12ページ

あいさつ

今、私たちのふるさと佐田峠は段々畑にたわわに実ったみかんが秋晴れのもと、黄金色に輝く収穫期を迎えています。のどかで豊かな自然の恵みを受け、農業・漁業を中心とする経済基盤を築き、今日に至っています。



瀬戸町長 阿部 茂久

しかし、本町の人口は町村合併時1万人に及んでいた人口は、昭和60年には約8分の1に減少し、全国でも有数の過疎の町となっています。

この過疎化、高齢化が進行する中において、若年層の定住を促進し、活力ある町づくりを推進するための産業おこしが急務となっています。このような中において、国道バイパスの開通、南予用水事業、又、情報化時代に対応するニューメディアコミュニティ構想など将来を展望する条件が整いつつあります。それでこれらの条件をどう町の活性化に、産業の振興に結び付けて行くべきか当面の最重要課題であります。

本年度瀬戸町では通産省の産業育成支援事業の指定を受けて、観光開発ビジョンの策定や特産品の開発、新しいイベントの実施(瀬戸の花嫁まつり)、ふるさと宅配事業(瀬戸の花嫁便)や岡山県瀬戸町との交流など新しい活力が芽生えつつあります。

このシンポジウムを通じて、地域の一人ひとりが「ふるさと再興」に対する関心と意識を高め、地域の総力をあげ活性化に向けてどう展開していくか、産業・文化・観光等の活性化の方途を探りたいと思います。

瀬戸町は一言に言ってしまうと、可能性が限りある。最大の敵であり、ネックばかりを考えず、可能性を最大限に引き出すことが必要だ。観光をバネとして町の活性化

可能性が限りある 限り挑戦



パネリスト 社会計画研究所代表 齋藤 麻次男

化への取り組みは、基本方針が決定したらおもしろい。大きな手を打つことも必要である。ここで重要なことは、全員がまっすぐに参加することであるが、まっすぐに参加する人が、まっすぐに参加することである。まっすぐに参加することである。



パネリスト 都市環境計画研究所代表 長谷川 弘 直

生産観光地化 観光への取り組みは一町だけではなく、一市五町のエリアの中で考える広域観光を考えた。このエリアの中で瀬戸町の観光はどうかあるべきか。どのような役割を果たすべきか。どのような役割を果たすべきか。

このシンポジウムを通じて、地域の一人ひとりが「ふるさと再興」に対する関心と意識を高め、地域の総力をあげ活性化に向けてどう展開していくか、産業・文化・観光等の活性化の方途を探りたいと思います。

豆知識

「シンポジウム」もともと古代ギリシャで、通例会食に続いて行われた酒をくみ交わしながら音楽を奏し、話し合いを興じた集まりが始まり。特定の論議についてさまざまな角度から自由に意見を発表し、質疑討論すること。

「コーディネーター」次々と出された貴重な意見を踏まえ、吉田助教授は「モチない自分は面白くない。町の存在も同じこと。モチるようにならなければならない。町民一人ひとりがビジョンを持ち、あきらめず行動することが必要だ」と結んだ。

風、高原、一風車・レス



▲人々を呼び寄せる国道バイパス(瀬戸トンネル附近)



パネリスト 愛媛新聞センター所長 客野 澄博

道路は「魔物」 日本交通公社のガイドブックの中から佐田峠半島の紹介を一言。(佐田峠半島)豊予海峡に突き出た岬、長さ四十キロ最長幅六キロ、最短幅五〇〇メートル日本で一番細長い半島である。特別に観光的名所はなく、海岸線と海だけで行っても何もなく行き帰りに一日もかかる。



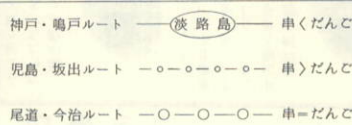
パネリスト 松山商科大学教授 宮崎 隆

まちづくりは綱引き 道路は二面性を持つという。影響力を持ち、吸引力の強い方へ人と物は移動する。まもなく国道バイパスの全線開通を迎えるのであるが、となれば否応なしにこの引っぱり合は瀬戸町も参加しなければならなくなる。だからしっかりと負けてしまおう。このすばら

また、この佐田峠半島を称し、美しい自然を有しながらも、国・県の保養所等がいくつか所もなく、全く開発がなされていない。瀬戸町においては四五、四パセントの人が将来を非観光的に受けとめており意識がたいへん冷えこんでいる。頂上線バイパスの開通は過疎の歯止めになるか。何らかの手段を施さなければ過疎に拍車がかかり、通過道路として、位置づけられ観光公害にさらされることになる。ま

さき道路は「魔物」受け入れ体制を整備しなければ大変なことになるだろう。そのほか、ユニークな瀬戸町の核となるものをいくつかあげたい。長寿の町であることを生かし、全国の老人の方においていただき、お年寄りのミニ独立共和国の建国。観光開発においては、町間士の垣根を取った佐田峠半島全体を考慮した松山園を見通した取り組みが必要である。

[3 ルート の 比較]

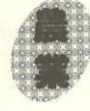


▲真剣なまなざし



仲村進一 (三机)

パネルディスカッションの先生方の発言の前に、地元の後継者によるまちづくりの提言



長岡伝之 (大江)

瀬戸町の誇るべきものは、宇和海と伊予灘の豊富な漁場



木嶋英幸 (塩成)

瀬戸町がフェリーの着く町だったから、大都市圏にあったらと思うほど交通事情が悪く、農産物の迅速で、かつ低コスト

がありました。要約して紹介いたします。

この打開策として、後継者による青年漁業者協議会を結成。ウニの中間育成に取り組みなど採る漁業からつくり育てる漁業への転換、また、一・五次産業の創造などをめざしたい。

トの輸送に問題があった。この問題も一九七号バイパスの開通により解決しそうだ。フェリーの着く町、歴史的に栄えた町を夢みて、半島全体の若者が手を取りあって、物・心ともに豊かな地域づくりをめざしたい。

この夏の花嫁まつりには、町内外から多くの客を呼び、大勢で行動すれば何でもやれるということを学んだ。町民皆が一丸となって力を合わせて町づくりに取り組みることが必要だ。これは一町だけではインパクトが弱く、半島の一市五町が力を合わせることも必要だ。

魅力あるまちづくり

社会計画研究所 齋藤次男



瀬戸町の魅力を語る齋藤氏

- ① 瀬戸町の魅力をスライドを材料として再発見、そして方向を探ろうとする、ユニークな基調報告である。
② スライドを前にいくつか感じた瀬戸町の魅力を述べたい。
③ 三机湾、須賀公園は真珠湾九重神の地として歴史的魅力がある。
④ 先人が活躍した海洋民族の血を生かし、海上交通をとらえ、陸上交通との相乗効果を図る。
⑤ 風が強いという弱点を逆手にとり、風をシンボルとし

だし、具数のアクセサリなど価値のあるものへの転換を図り、商品化する。
⑥ 国道バイパスの観光開発。点を生かした観光開発。以上の内発的活性化要因に加えて西瀬戸経済圏構想、瀬戸大橋、松山・九州の結びきなど外部から力の及ぶ外発的活性化要因をつなぎ合わせ、たし算して一つ一つを掘り下げ考えなければならない。
この点において瀬戸町は大きな魅力を持ち、可能性は無限にあるのではないだろうか。この無限の可能性の秘めている観光開発は佐田半島一帯となつて考えたほうがより大きなインパクトを生み、外部に對してのアピール性が強い。

この観光という語句には、使い古されたという感があり、現在においては時間、空間、所得において自由に使うことのできる余暇ということについて考えなければならない。また、農、漁業との相乗効果についても考える必要がある。特に、瀬戸町、大きくは佐田半島の自然の良さが見直され、活性化の条件が整いつつある今日、この時代の流れに乗り「千里の先」まで一気に突き進むことが必要だ。

記念講演

「歴史にみる地域活性のリーダー」 火だねと心の改革

童門冬二 (作家)

「まちづくりのリーダーたるものはどうあるべきか」人間形成、住民の意識づくりを上杉鷹山が地域活性化に乗り出し、見事、活力あるまちづくりを達成するまでの生きざまを生々しく紹介した講演である。

上杉鷹山は、宮崎県高崎の生まれ。幼いときに養子に出され、若くして米沢藩(山形県米沢市)の再興に乗り出す。当時、米沢は人口が一五、〇〇〇人から八、〇〇〇人に激減し、宿場はさびれ、農民商人皆が絶望状態にあった。この状態から再興に乗り出すわけであるが、町の状況意識からみて、瀬戸町においてもいえることである。上杉鷹山は言う「地域住民は大名、殿様のためにあるのではなく、地域住民のために大名、殿様があるのだ」と。この信念のもと町づくりに取



▲火だね運動を語る童門氏

り込む。鷹山は、リーダーの心構えとして重要なことは「してみせて、言わずに聞かせて、させてみる」ことだと言っている。この「言わずに聞かせて」とはただ説明するだけでなく、納得させ、すなわち情報を提供、説明してリーダーの道力情熱により仕事をさせることである。

ダメなリーダーは、とかく「黙って言われたとおりにしろ」「あいつは文句を言うから他の者にさそう」と「言わずに聞かせて」を省略していることが多い。これでは仕事に疑問と不安をいだき、仕事に集中することができないばかりか、創造性は生まれてこない。太平洋戦争の指令官、山本

五十六氏は「してみせて、言わずに聞かせて、させてみる、さらに督めてやる、そうしなければ人は付いてこない」と言っている。鷹山は再興のために手始めに取り組んだことは日常業務と区別して活性化プロジェクトチームをつくり、相互の意見交換の場を多く持ったこと、それとまちづくりは、「心の改革」だと言っている。「心の」とかまちづくりは、ハードが重視され、先行するためソフトを重視し、人間の心の再編成が必要である。この「心の改革」は火だねから炭火がおきるような一人から二人へ、二人から三人へ……と

「これに加えて「成せば成る」の信念のもとやる気がなければまちづくりは成就できない。また、多少の外圧に屈することなく前進するのみである。」







昭和61年10月分  
末長くお幸せに

人々のうごき (10月末現在)	
世帯数	1,315戸
人口	3,574人
男	1,641人
女	1,933人
本籍数	4,415戸
本籍人口	14,941人

お誕生おめでとろ

おくやみ

募集 昭和六十二年度  
保育園入所児童

昭和六十二年四月から、保育園に入所を希望される児童を次のように募集しております。希いことが対象となります。

望者は申請書を昭和六十一年二月十三日(土)までに提出して下さい。

保育園は、その児童の保護者特に母親の就労や疾病、病人等の看護を日中常態としているため、その児童の保育にあたり、かつ、同居者がその児童の保育にあたる事ができない場合、保護者にかわって日々、保育する義務です。したがって、保育園は幼児教育の場として小学校の入学準備のため、あるいは単独生活になれさせるため、もしくは経済的理由で生活に困るといふことのみでは入所の対象と

保育園に入所できる基準は次のとおりです。

- ① 母親が妊娠、産後外で仕事をしている場合
- ② 母親が疾病、家庭内で家事以外の仕事をしている場合
- ③ 母親がいない場合
- ④ 母親が出産、病気、障害の場合
- ⑤ 母親が病人、障害者の看護等に従事している場合

ゆうちゃんだより

年賀状はお早目に

●年賀状の受付は12月15日(日)から始まります。  
年賀状を暮れも押迫ってからお出しになる方もありますが、そのため、せつかくという例もありますので、お早目にいただき、なるべく12月20日頃までにお出しくださるようお願いいたします。  
●年賀状に私製はがきや、年賀はがき以外のはがきや封書をお使いになる方は、年賀状として判明できるよう表面に「年賀」と添書してください。  
○郵便番号もお忘れなく

之既小規模保育園三十名、大久保保育園十五名です。  
なお、現在入所中の児童につきましても来年度入所希望があれば申請書を提出して下さい。  
申請書は、町民課または各保育園に準備しております。

必要書類

◆給付者は、昭和六十一年分の児童徴収票(後日提出)  
◆児童の母親が勤労又は内職等に従事している場合は、その就労証明書を添付  
詳しくは町民課までお問い合わせ下さい。

お詫び

広報十月号で公表いたしました戸籍の花嫁まつり報告の寄附者名簿において、上田弘様(三宅)、菊池良雄様(三宅)の名前が漏れていました。たいへん申し訳ありませんでした。心からお詫びして訂正させていただきます。  
(瀬戸町イベント実行委員会)

お札

せと広報の発送費用に、ご寄付をいただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。  
▼宮崎市區島の郵便局さん